



## 平成 19 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 11 月 22 日

上場会社名 応用技術株式会社 上場取引所 JASDAQ  
 コード番号 4356 U R L <http://www.apptec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷澤 寿一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門担当 (氏名) 前原 夏樹 T E L (06)6373 - 0440

(百万円未満切捨て)

1. 平成 19 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(注) 当期より連結財務諸表を作成しているため、前年同期の実績及び比較は記載しておりません。

(1) 連結経営成績 ( % 表示は対前年同四半期増減率 )

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 12 月期第 3 四半期	4,123	( - )	194	( - )	192	( - )	182	( - )
18 年 12 月期第 3 四半期	-		-		-		-	
18 年 12 月期	-		-		-		-	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 12 月期第 3 四半期	6,370	96	-	
18 年 12 月期第 3 四半期	-		-	
18 年 12 月期	-		-	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
19 年 12 月期第 3 四半期	2,337		1,309		56.0	45,811	58	
18 年 12 月期第 3 四半期	-		-		-	-		
18 年 12 月期	-		-		-	-		

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19 年 12 月期第 3 四半期	588		15		146		880	
18 年 12 月期第 3 四半期	-		-		-		-	
18 年 12 月期	-		-		-		-	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
18年12月期	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 0 00
19年12月期(実績)	-	-	-	-	0 00
19年12月期(予想)	-	-	-	-	0 00

3. 平成19年12月期の連結業績予想(平成19年1月1日～平成19年12月31日) 【参考】  
(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	5,500 ( )	100 (-)	100 (-)	80 (-)	2,799 59

(注) 通期業績予想については、変更ありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 有
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期における我が国経済は、原油・原材料価格の高騰による企業収益への影響や、米国サブプライムローン問題による信用収縮など懸念材料はあるものの、製造業を中心に景気は緩やかな拡大が継続する形で推移いたしました。

情報サービス業界におきましては、業績の回復や金融商品取引法の施行等により顧客企業の IT 投資が増加しておりますが、一方で採用難に伴う SE 要員の逼迫や外注単価の上昇などにより、顧客企業のコストダウン要請とあいまって、収益面では厳しい状況が継続しております。

このような状況の下、当社はオフショア事業の推進と経営の効率化のため平成 19 年 1 月 1 日付で SI サービス部門を会社分割により連結子会社とするとともに、製造業向けソリューション、GIS (地理情報システム)、環境・防災分野向けエンジニアリングサービスの 3 分野に経営資源を集中させる形で事業を推進しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第 3 四半期末の総資産は、2,337,785 千円、負債は、1,028,774 千円、純資産は、1,309,010 千円となりました。

なお、当社は当連結会計年度より連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期比は記載しておりません。

キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) は、880,668 千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、588,506 千円であり、これは主に税金等調整前四半期純利益 182,260 千円の計上、賞与引当金 96,246 千円の増加及び売上債権の減少 353,752 千円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、15,588 千円であり、これは主に無形固定資産の取得 11,919 千円、有形固定資産の取得 17,124 千円の投資を行ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、146,115 千円であり、これは主に短期借入金の返済 146,000 千円を行ったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期においては、業績は概ね計画どおり進捗しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社: 株式会社トランスコスモス・テクノロジーズ

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当期より連結財務諸表を作成しているため、該当事項はありません。

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
1 現金及び預金	-	880,668	-	-	-
2 受取手形及び売掛金	-	714,862	-	-	-
3 たな卸資産	-	356,524	-	-	-
4 繰延税金資産	-	66,202	-	-	-
5 その他	-	55,368	-	-	-
貸倒引当金	-	1,923	-	-	-
<b>流動資産合計</b>		2,071,702	-	-	-
<b>固定資産</b>					
1 有形固定資産	-	74,982	-	-	-
2 無形固定資産	-	73,274	-	-	-
3 投資その他の資産	-	135,032	-	-	-
貸倒引当金	-	17,207	-	-	-
投資その他の資産合計	-	117,825	-	-	-
<b>固定資産合計</b>	-	266,083	-	-	-
<b>資産合計</b>	-	2,337,785	-	-	-

応用技術㈱(4356) 平成19年12月期第3四半期財務・業績の概況

(単位:千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
1 買掛金	-	299,291	-	-	-
2 短期借入金	-	282,000	-	-	-
3 未払法人税等	-	75,593	-	-	-
4 賞与引当金	-	124,670	-	-	-
5 その他	-	227,634	-	-	-
<b>流動負債合計</b>	-	1,009,189	-	-	-
<b>固定負債</b>					
1 その他	-	19,585	-	-	-
<b>固定負債合計</b>	-	19,585	-	-	-
<b>負債合計</b>	-	1,028,774	-	-	-
<b>(純資産の部)</b>					
<b>株主資本</b>					
1 資本金	-	1,205,491	-	-	-
2 資本剰余金	-	1,023,029	-	-	-
3 利益剰余金	-	917,294	-	-	-
4 自己株式	-	2,027	-	-	-
<b>株主資本合計</b>	-	1,309,198	-	-	-
<b>評価・換算差額等</b>					
1 その他有価証券 評価差額金	-	187	-	-	-
<b>評価・換算差額等合計</b>	-	187	-	-	-
<b>純資産合計</b>	-	1,309,010	-	-	-
<b>負債及び純資産合計</b>	-	2,337,785	-	-	-

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	-	4,123,270	-	-	-
売上原価	-	3,285,584	-	-	-
売上総利益	-	837,685	-	-	-
販売費及び一般管理費	-	643,388	-	-	-
営業利益	-	194,297	-	-	-
営業外収益	-	4,978	-	-	-
営業外費用	-	6,612	-	-	-
経常利益	-	192,663	-	-	-
特別利益	-	6,361	-	-	-
特別損失	-	16,764	-	-	-
税金等調整前四半期(当期)純利益	-	182,260	-	-	-
法人税、住民税及び事業税	-	66,925	-	-	-
法人税等調整額	-	66,714	-	-	-
四半期(当期)純利益	-	182,050	-	-	-

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	(参考) 平成18年12月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	-	588,506	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	15,588	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	146,115	-
現金及び現金同等物の増加額	-	426,801	-
現金及び現金同等物の期首残高	-	453,866	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	-	880,668	-